

【第2号議案】

第74回全国植樹祭ロゴマークの作成について

1 大会テーマ及びシンボルマークの決定（報告）

(1) 募集概要

- ・募集期間 令和3年8月5日から令和3年10月15日まで
- ・応募状況 大会テーマ 1,444点（実人員789人）
シンボルマーク 471点

(2) 審査概要

①審査員（大会テーマ・シンボルマーク・大会ポスター原画専門委員会委員）

区分	氏名	所属・役職
委員長	柴田 奈美	岡山県立大学デザイン学部 教授
副委員長	清田 哲男	岡山大学大学院教育学研究科 教授
委員	杉本 孝一	(公社)岡山県緑化推進協会 事務局長
	藤井 茂樹	新見美術館 館長
	槇尾 俊之	岡山県農林水産部 部長
	佐藤 将男	岡山県環境文化部 部長

②審査経緯

〔一次審査〕

- ・大会テーマ 55点を選定
- ・シンボルマーク 59点を選定

〔二次審査〕

- ・大会テーマ 55点から最優秀作品候補等を選定
- ・シンボルマーク 59点から最優秀作品候補等を選定

〔最終審査〕


- ・二次審査の結果をもとに、それぞれ最優秀作品等を決定

③審査結果
[大会テーマ]

賞	作品等
<p><最優秀賞></p>	<p>作 品：晴れの国 光で育つ 緑の心</p> <p>作 者：<small>おおすみ はんな</small>大隅 絆成(岡山市北区・岡山市立西小学校5年生)</p> <p>制作意図：岡山は晴れの国だから光を使った。育つのは緑にも心にも使えるから両方育てばいいなと思いその願いをこめた。</p> <p>選定理由：人にも植物にも欠かせない光に着目し、晴れの国岡山が人・植物双方に豊かな環境であることをアピールでき光によって育まれた緑の心への無限の可能性が感じられる作品である。</p>

<p><優秀賞></p>	<p>作 品：晴れの国から森づくり 豊かな森は未来の希望</p> <p>作 者：<small>よしの のぶゆき</small>吉野 信幸(埼玉県)</p>
	<p>作 品：晴れの国 つなぐみどりの ストーリー</p> <p>作 者：<small>ひらまつ たいすけ</small>平松 泰輔(北海道)</p>
	<p>作 品：晴れの国から 植える木 守る木 未来の木</p> <p>作 者：<small>いけなが かずひろ</small>池永 一広(大阪府)</p>

[シンボルマーク]

賞・作品	作者等
<p>＜最優秀賞＞</p> 	<p>作者：<small>みやかわ ちはる</small> 宮川 千明（岡山市北区）</p> <p>制作意図：ももっち、うらっちの足元の輪を繋げる事で、「循環」「人・活動のつながり」を表現。2人の服装は緑を基調に動きやすい格好にした。背景の桃にサンバースト（太陽光線）をあしらう事で、晴れの国のイメージも出して岡山らしさを出した。</p> <p>選定理由：背景の桃やサンバースト（太陽光線）が「岡山県」を明るい色彩で上手に表現できており、「第74回全国植樹祭」を全国にPRできる作品である。</p>

<p>へ 優 秀 賞 へ</p>			
	<p><small>まる かずよ</small> 丸 和代（東京都）</p>	<p><small>とくひら かずや</small> 徳平 加寿也（大阪府）</p>	<p><small>いのまた あいこ</small> 猪股 愛子（神奈川県）</p>

2 第74回全国植樹祭ロゴマークの作成（審議）

令和6（2024）年に本県で開催する「第74回全国植樹祭」を効果的に周知するため、大会テーマ及びシンボルマークを組み合わせた、一体的なロゴマークを作成する。

（1）ロゴマーク（案）

（横型）



（ワッペン型）



（縦型）



（2）活用方法

大会ポスターやホームページ、「全国植樹祭だより」、ノベルティグッズ等の啓発資材など幅広く活用。